

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2018年11月29日(29.11.2018)



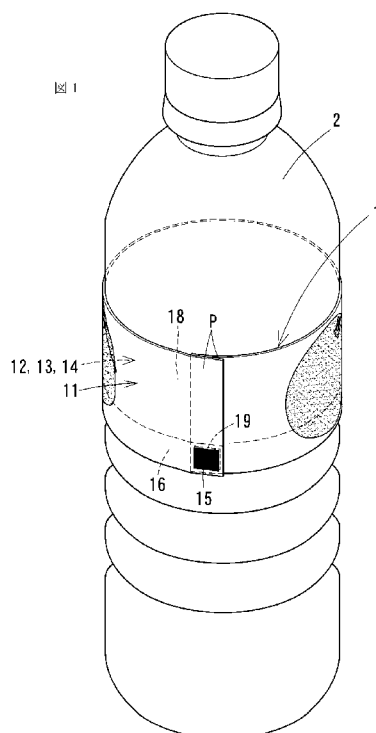
(10) 国際公開番号

WO 2018/215971 A1

- (51) 国際特許分類:
B65C 3/08 (2006.01) *G09F 3/10* (2006.01) 〒30313 ジョージア州 アトランタ# ノースウェスト、コカ・コーラ・プラザ1 Atlanta (US).
B65C 3/12 (2006.01) *G09F 3/02* (2006.01)
G09F 3/03 (2006.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/IB2018/053700
- (22) 国際出願日: 2018年5月24日(24.05.2018)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願 2017-102686 2017年5月24日(24.05.2017) JP
- (71) 出願人: ザ コカ・コーラ カンパニー (THE COCA-COLA COMPANY) [US/US];
- (72) 発明者: 松岡 建之 (MATSUOKA, Kenshi); 〒1500002 東京都渋谷区渋谷4丁目6番3号 日本コカ・コーラ株式会社内 Tokyo (JP). 加納 章好 (KANO, Akiyoshi); 〒1080075 東京都港区港南2丁目16番1号 レンゴー株式会社東京本社内 Tokyo (JP). 小林 崇 (KOBAYASHI, Takashi); 〒1080075 東京都港区港南2丁目16番1号 レンゴー株式会社東京本社内 Tokyo (JP).
- (74) 代理人: ウォーレン, ダニエル J. (WARREN, Daniel J.); 〒30309-3996 エヴァーシェッズ・サザーランド (US) エルエルピー ジョージ

(54) Title: LABEL WITH PRIZE AND METHOD FOR PRODUCING SAME

(54) 発明の名称: 懸賞付きラベル及びその製造方法



(57) Abstract: [Problem] To provide a label with a prize, said label having excellent prize display-concealing properties, and a method for producing such labels accurately and inexpensively. [Solution] A label 1 with a prize, said label surrounding an object, wherein: a center impression-type flexographic printing press is used; a pattern layer 12, a prize display layer 13 and an underlayer 14 are formed on the back surface-side of a transparent film 11 by means of overlay printing; the pattern layer 12 is provided with a display base section 15, which is opaque and has high light-blocking



ア州アトランタ#ピーチツリー・ストリート
トノースイースト999 Atlanta (US).

- (81) 指定国(表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DJ, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, JO, KE, KG, KH, KN, KP, KR, KW, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国(表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

添付公開書類:

- 国際調査報告(条約第21条(3))
- 請求の範囲の補正の期限前の公開であり、補正を受理した際には再公開される。(規則48.2(h))

properties; continuous back overlay printing 16 is implemented in the circumferential direction of the object on the prize display layer 13, and said layer 13 is either provided with or not provided with a transparent prize display 17 so as to overlap the display base section 15; and continuous back overlay printing 18 is implemented on the underlayer 14 in the circumferential direction of the object in the same color as the back overlay printing 16, and the underlayer 14 is provided with a transparent display window section 19 so as to coincide with the display base section 15.

(57) 要約: 賞表示の隠蔽性に優れた懸賞付きラベルを提供すると共に、そのラベルを精度よく安価に製造できる方法を提供する。【解決手段】被包体を包囲する懸賞付きラベル1において、センターインプレッション型のフレキソ印刷機を使用し、透光性のフィルム11の裏面側に図柄層12、懸賞表示層13及び下地層14を重ねて印刷により形成し、図柄層12には、不透明で遮光性の高い表示ベース部15を設け、懸賞表示層13には、被包体の周方向となる方向に続く裏重印刷16を施すと共に、表示ベース部15に重なるように透明の賞表示17を設け、又は設けず、下地層14には、裏重印刷16と同色で被包体の周方向となる方向に続く背裏印刷18を施すと共に、表示ベース部15に一致するように透明の表示窓部19を設ける。

【書類名】明細書

【発明の名称】懸賞付きラベル及びその製造方法

【技術分野】

【0001】

この発明は、飲料容器等の被包体を包囲する懸賞付きラベル及びその製造方法に関するものである。

【背景技術】

【0002】

一般に、飲料入りのPETボトルは、胴部の外周をフィルム製のラベルで包囲した形態で販売される。このような飲料の販売に際しては、購買意欲を高めるキャンペーン等のため、PETボトルのラベルに一定の確率で当選が出現する懸賞を付することがある。

【0003】

ラベルに懸賞を印刷により付する方法としては、下記特許文献1に記載された技術を利用し、ラベルの図柄と懸賞の「当たり」示す賞表示とを直径が異なるシリンダー状の版胴で印刷することにより、各々の版胴の周長の最小公倍数の長さに相当する間隔で、賞表示が視認できるようにすることが考えられる。

【0004】

また、「当たり」を示す賞表示を、当選以外のラベルにおいて隠蔽する方法としては、下記特許文献2に記載された技術を利用し、フィルムの裏面に、ベタ印刷を施して一定間隔で透明な表示窓部を設けたベース層と、そのベタ印刷と同色の賞表示を表示窓部とは異なる間隔で設けた懸賞表示層とを重ねて形成することにより、賞表示が表示窓部に重なるときにのみ、賞表示を視認することができ、賞表示が表示窓部からずれている場合には、ベタ印刷に馴染んで視認できないようにすることが考えられる。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0005】

【特許文献1】特開昭57-212090号公報

【特許文献2】特開平11-78327号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0006】

しかしながら、ラベル印刷で通常使用される軟包装向けのグラビア印刷機は、図6に示すように、版胴51と圧胴52を備えた複数の印刷ユニット53が直列に配置され、隣り合う印刷ユニット53の間でフィルム50が空間を通過するため、印刷ユニット53ごとに異なる周長の版胴51を使用すると、賞表示を所定の位置に印刷できない恐れがある。

【0007】

また、フィルムにベタ印刷を施し、これに重ねて賞表示を印刷した場合、ベタ印刷のインキによる隠蔽性が低く、「当たり」の賞表示が透けて見えることがある。

【0008】

その対策として、印刷イメージを任意に制御できるデジタル式のインクジェットプリンターを使用した場合、印刷に要するコストが高くなるという問題がある。

【0009】

そこで、この発明は、賞表示の隠蔽性に優れた懸賞付きラベルを提供すると共に、そのラベルを精度よく安価に製造できる方法を提供することを課題とする。

【課題を解決するための手段】

【0010】

上記のような課題を解決するため、この発明は、フィルムを基材とし、被包体を包囲する懸賞付きラベルにおいて、

前記基材となるフィルムは透光性を有するものであり、その裏面側に図柄層が印刷により形成されると共に、前記図柄層の裏面側に懸賞表示層及び下地層がいずれかの順序で重

なり合って印刷により形成され、

前記図柄層には、不透明で遮光性の高い表示ベース部が設けられ、

前記懸賞表示層には、被包体の周方向となる方向に続く裏重印刷が施されると共に、前記図柄層の表示ベース部に重なるように透明の賞表示が設けられ、又は賞表示が設けられることがなく、

前記下地層には、前記懸賞表示層の裏重印刷と同色で被包体の周方向となる方向に続く背裏印刷が施されると共に、前記図柄層の表示ベース部に一致するように透明の表示窓部が設けられているものを提供することとしたのである。

【0011】

また、前記フィルムは、被包体に巻き付けられて、両端部分が重ね合わされ、その重合部での接着により、被包体に密着保持されるものであり、

前記図柄層の表示ベース部は、前記フィルムの重合部のうち、外側の重合部の領域内に位置するように設けられているものとしたのである。

【0012】

また、このようなラベルの製造方法であって、センターインプレッション型のフレキシソ印刷機を使用し、

中央の圧胴の周りに配置された複数の版胴により、前記基材となるフィルムの裏面に前記図柄層を印刷して形成すると共に、前記図柄層の裏面側に懸賞表示層及び下地層をいずれかの順序で重なり合うように印刷して形成し、

この印刷に際して、前記図柄層及び下地層の一単位の間隔は、懸賞付きラベルの単体の長さである基準間隔とし、前記懸賞表示層の一単位の間隔は、前記基準間隔と異なる基準外間隔とすることにより、

前記基準間隔と基準外間隔の最小公倍数となる間隔ごとに、前記懸賞表示層の賞表示が前記図柄層の表示ベース部に重なり、前記下地層の表示窓部から現れるようにする方法を提供することとしたのである。

【発明の効果】

【0013】

この発明に係る懸賞付きラベルは、被包体を包囲するフィルムの表面側が図柄層の不透明で遮光性の高い表示ベース部で覆われ、優れた隠蔽性が確保される。

【0014】

また、フィルムの裏面側において、懸賞が「当たり」のものでは、表示ベース部の印刷が賞表示及び下地層の表示窓部を透過するので、商品の購入者がフィルムの裏面側を見ると、賞表示を明確に視認することができる。

【0015】

一方、懸賞が「外れ」のものでは、賞表示がなく、表示窓部が裏重印刷に馴染むので、表示窓部から何も認識することができない。

【0016】

また、このラベルは、センターインプレッション型のフレキシソ印刷機で印刷することにより、周長が異なる版胴を使用して、精度よく安価に製造することができる。

【図面の簡単な説明】

【0017】

【図1】 この発明の実施形態に係る懸賞付きラベルを巻き付けたPETボトルを示す斜視図

【図2】 同上の重合部の接着を剥がして賞表示を確認する状態を示す斜視図

【図3】 同上の重合部の（I）接着状態、（II）接着を剥がして賞表示を確認する状態をそれぞれ示す拡大断面図

【図4】 同上のラベル製造時の印刷におけるフィルムの裏面側での図柄層、懸賞表示層及び下地層の関係を示す図

【図5】 同上の印刷用のセンターインプレッション型フレキシソ印刷機の概略図

【図6】 従来のラベル印刷に使用されるインライン型グラビア印刷機の概略図

【発明を実施するための形態】**【0018】**

以下、この発明の実施形態を添付図面に基づいて説明する。

【0019】

図1に示すように、この懸賞付きラベル1は、ポリプロピレン等から成る帯状のフィルム11を基材とし、被包体であるPETボトル2の胴部に巻き付けられて、両端部分が重ね合わされ、その重合部Pでの接着により、飲料入りのPETボトル2の胴部に密着した状態で保持されるものである。

【0020】

図3(I)に示すように、基材となるフィルム11は透明であり、PETボトル2への巻付状態における裏面側に、図柄層12、懸賞表示層13及び下地層14が順次重なり合って印刷により形成されている。

【0021】

図3(I)及び図4に示すように、図柄層12には、商品名のロゴや商品のイメージを高める模様等が印刷されると共に、フィルム11の重合部Pのうち、外側に重なる部分となる重合部Pの領域内に位置するように、濃色の印刷により、不透明で遮光性の高い四角形の表示ベース部15が設けられている。

【0022】

懸賞表示層13には、PETボトル2の周方向となる方向に帯状に続く白色のベタ印刷が裏重印刷16として施されている。そして、懸賞が「当たり」のものでは、図柄層12の表示ベース部15内に位置するように、透明に印刷が抜かれた「当」の文字から成る賞表示17が設けられ、懸賞が「外れ」のものでは、この位置に賞表示17が位置することなく、裏重印刷16の白色が施されている。

【0023】

下地層14には、懸賞表示層13の裏重印刷16と同色の白色により、PETボトル2の周方向となる方向に上下全幅にわたって続くベタ印刷が背裏印刷18として施されると共に、図柄層12の表示ベース部15に一致するように、透明に印刷が抜かれた四角形の表示窓部19が設けられている。

【0024】

これにより、懸賞が「当たり」のものでは、賞表示17が表示ベース部15及び表示窓部19の位置に対応し、フィルム11の裏面側からは、表示ベース部15の印刷が賞表示17及び表示窓部19を介して見えるので、賞表示17を視認でき、フィルム11の表面側からは、賞表示17は表示ベース部15で隠されて視認できなくなる。

【0025】

また、表示ベース部15及び表示窓部19の位置からずれた賞表示17は、背裏印刷18に馴染んでフィルム11の表面側だけでなく裏面側からも認識できず、懸賞が「外れ」のものでは、表示窓部19が裏重印刷16に馴染んで、表示ベース部15に隠されるフィルム11の表面側だけでなく裏面側からも認識できなくなる。

【0026】

上記懸賞付きラベル1の製造に際しては、図5に示すようなセンターインプレッション型のフレキソ印刷機20を使用する。このフレキソ印刷機20は、中央の圧胴21の周りに、複数の印刷ユニット22が配置されたものであり、印刷ユニット22は、それぞれ版が柔軟性を有する樹脂製の版胴23と、これにインキを供給するアニロックスロール24とを備えた構成とされている。

【0027】

そして、このフレキソ印刷機20のいくつかの印刷ユニット22を使用して、その版胴23により、図3(I)及び図4に示すように、フィルム11の裏面に図柄層12、懸賞表示層13及び下地層14を順次印刷して形成する。

【0028】

この印刷に際して、図柄層12及び下地層14の一単位の長さは、懸賞付きラベル1の

単体の長さである基準長Aとし、懸賞表示層13の一単位の長さは、基準長Aより長い基準外長Bとすることにより、基準長Aと基準外長Bの最小公倍数となる間隔ごとに、下地層14の表示窓部19を介して懸賞表示層13の賞表示17が現れるようにする。

【0029】

このような印刷を、図5に示すフレキシ印刷機20で行うには、図柄層12及び下地層14を印刷する印刷ユニット22の版胴23と、懸賞表示層13を印刷する印刷ユニット22の版胴23とを、周長が異なるものとする必要があるが、センターインプレッション型のフレキシ印刷機20では、周長が異なる版胴23を使用しても、圧胴21の外周面上にフィルム11が保持されているので、各層の印刷は殆どずれることがない。

【0030】

また、従来のグラビア印刷等によると、当選確率の下限は1/10程度であるが、このようなセンターインプレッション型のフレキシ印刷機20を使用すると、当選確率の下限を1/10よりも相当低く設定することができる。

【0031】

上記のような懸賞付きラベル1は、図1及び図3(I)に示すように、PETボトル2に巻き付けられるフィルム11の両端部分の重合部Pのうち、外側の重合部Pに賞表示17が設けられ、その部分は表面側が不透明で遮光性の高い表示ベース部15で覆われ、裏面側にフィルム11の内側の重合部Pが重なるので、優れた隠蔽性が確保される。

【0032】

そして、図2及び図3(II)に示すように、商品である飲料入りのPETボトル2の購入者がフィルム11の重合部Pの接着を剥がして、外側の重合部Pを捲ると、懸賞が「当たり」のものでは、表示ベース部15の印刷が透明な賞表示17及び表示窓部19を透過するので、賞表示17を明確に視認することができる。

【0033】

一方、懸賞が「外れ」のものでは、賞表示17がなく、表示窓部19が裏重印刷16に馴染むので、表示窓部19から何も認識することができない。

【0034】

また、この懸賞付きラベル1は、センターインプレッション型のフレキシ印刷機20で印刷するため、周長が異なる版胴23を使用することができ、グラビア印刷機で印刷する場合よりも、精度よく安価に製造することができる。

【0035】

なお、上記実施形態では、フィルム11が透明のものを例示したが、フィルム11は、裏面側が透けて見える透光性のものであれば、無色透明でなくてもよく、有色透明や半透明のものであってもよい。

【0036】

また、裏重印刷16及び背裏印刷18が白色のものを例示したが、裏重印刷16と背裏印刷18は、同色であれば、白色でなくてもよい。

【0037】

そのほか、懸賞表示層13の裏重印刷16がフィルム11の上下幅よりも狭い帯状のものを例示したが、裏重印刷16は、背裏印刷18と同様に、フィルム11の上下全幅にわたって施してもよい。

【0038】

また、懸賞付きラベル1として、被包体に巻き付けて両端の重合部を接着するロールラベルを例示したが、懸賞付きラベル1は、筒状として被包体の外周に被せた状態で熱収縮させるシュリンクラベルや、伸縮性で密着させるストレッチラベル等としてもよい。

【0039】

なお、シュリンクラベルやストレッチラベルの場合、賞表示17を裏側から隠す重合部Pがなく、飲料と被包体が共に透明であれば、フィルム11の裏面側から賞表示17が見える恐れがあるので、この懸賞付きラベル1は、飲料及び被包体の少なくともいずれかが不透明なものについて適用できる。

【0040】

さらに、懸賞付きラベル1で包囲する被包体として、PETボトル2を例示したが、この懸賞付きラベル1は、金属製の缶や紙パック等が被包体である場合にも適用できる。

【符号の説明】

【0041】

- 1 懸賞付きラベル
- 2 PETボトル
- 11 フィルム
- 12 図柄層
- 13 懸賞表示層
- 14 下地層
- 15 表示ベース部
- 16 裏重印刷
- 17 賞表示
- 18 背裏印刷
- 19 表示窓部
- 20 フレキシソ印刷機
- 21 圧胴
- 22 印刷ユニット
- 23 版胴
- 24 アニロックスローラ
- A 基準長
- B 基準外長
- P 重合部

【書類名】 特許請求の範囲**【請求項 1】**

フィルム(11)を基材とし、被包体を包囲する懸賞付きラベル(1)において、

前記基材となるフィルム(11)は透光性を有するものであり、その裏面側に図柄層(12)が印刷により形成されると共に、前記図柄層(12)の裏面側に懸賞表示層(13)及び下地層(14)がいずれかの順序で重なり合って印刷により形成され、

前記図柄層(12)には、不透明で遮光性の高い表示ベース部(15)が設けられ、

前記懸賞表示層(13)には、被包体の周方向となる方向に続く裏重印刷(16)が施されると共に、前記図柄層(12)の表示ベース部(15)に重なるように透明の賞表示(17)が設けられ、又は賞表示(17)が設けられることがなく、

前記下地層(14)には、前記懸賞表示層(13)の裏重印刷(16)と同色で被包体の周方向となる方向に続く背裏印刷(18)が施されると共に、前記図柄層(12)の表示ベース部(15)に一致するように透明の表示窓部(19)が設けられていることを特徴とする懸賞付きラベル。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の懸賞付きラベル(1)において、前記フィルム(11)は、被包体に巻き付けられて、両端部分が重ね合わされ、その重合部(P)での接着により、被包体に密着保持されるものであり、

前記図柄層(12)の表示ベース部(15)は、前記フィルム(11)の重合部(P)のうち、外側の重合部(P)の領域内に位置するように設けられていることを特徴とする懸賞付きラベル。

【請求項 3】

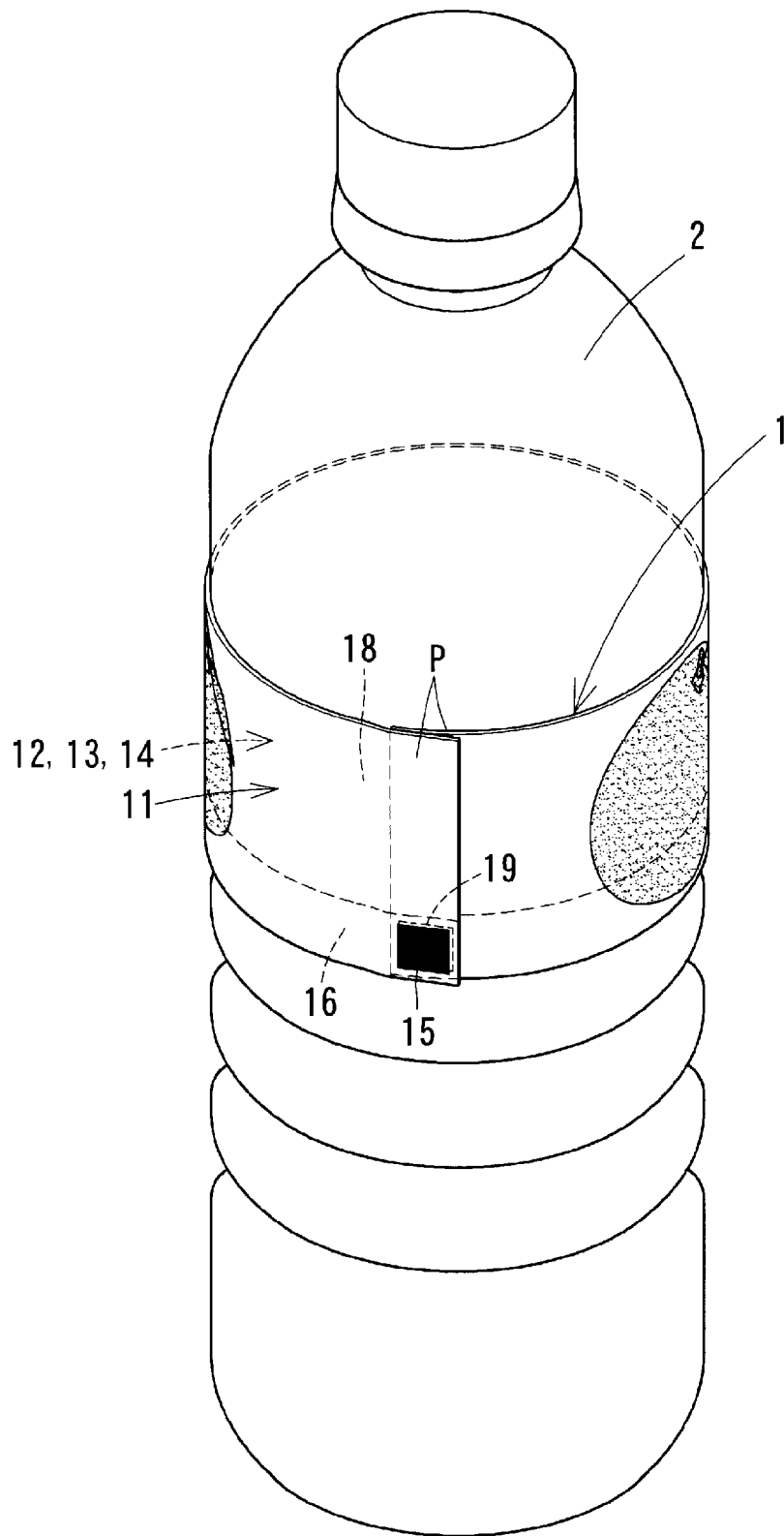
請求項 1 又は 2 に記載の懸賞付きラベル(1)の製造方法であって、センターインプレッション型のフレキソ印刷機(20)を使用し、

中央の圧胴(21)の周りに配置された複数の版胴(23)により、前記基材となるフィルム(11)の裏面に前記図柄層(12)を印刷して形成すると共に、前記図柄層(12)の裏面側に懸賞表示層(13)及び下地層(14)をいずれかの順序で重なり合うように印刷して形成し、

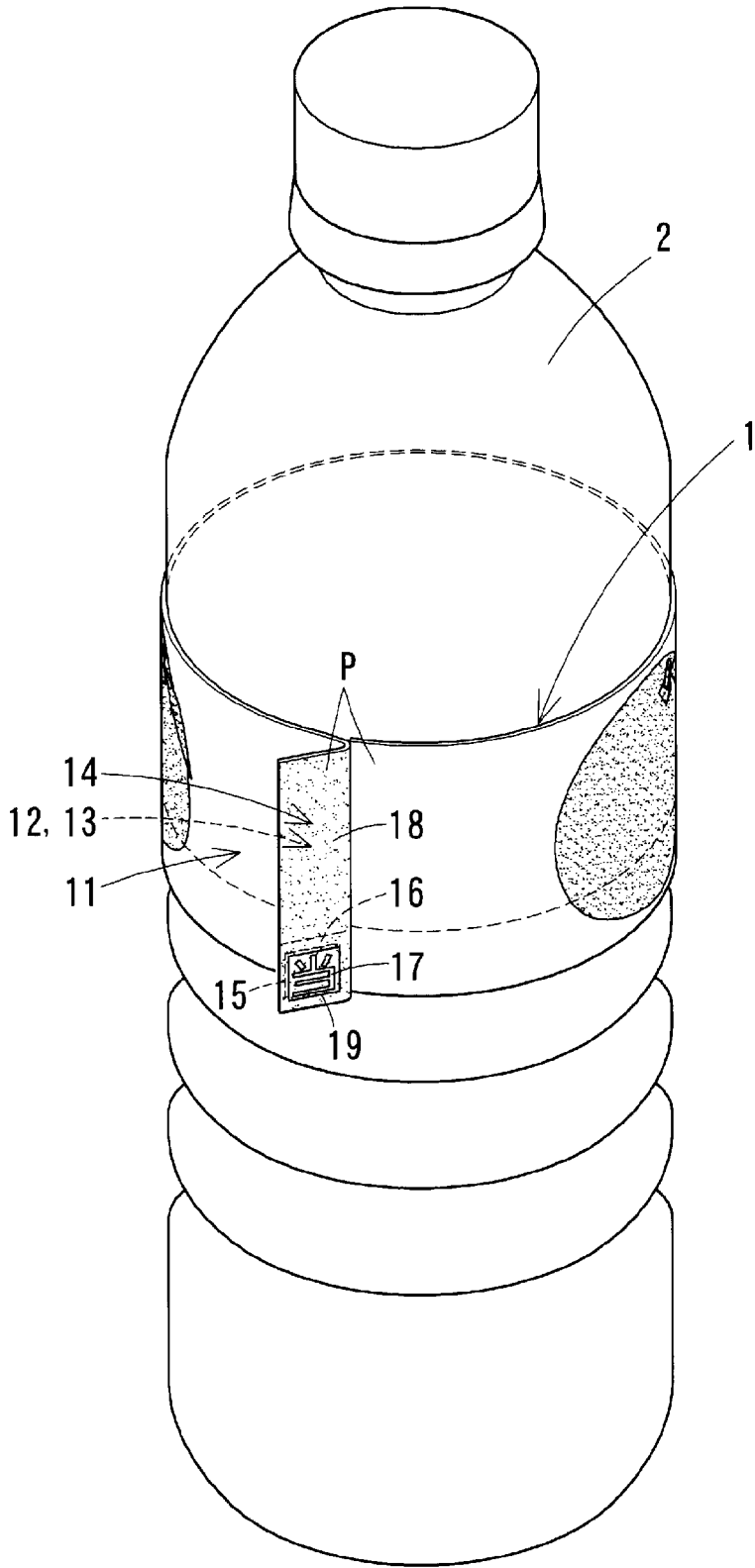
この印刷に際して、前記図柄層(12)及び下地層(14)の一単位の長さは、懸賞付きラベル(1)の単体の長さである基準長(A)とし、前記懸賞表示層(13)の一単位の長さは、前記基準長(A)と異なる基準外長(B)とすることにより、

前記基準長(A)と基準外長(B)の最小公倍数となる間隔ごとに、前記懸賞表示層(13)の賞表示(17)が前記図柄層(12)の表示ベース部(15)に重なり、前記下地層(14)の表示窓部(19)から現れるようにする懸賞付きラベルの製造方法。

【書類名】 図面
【図 1】

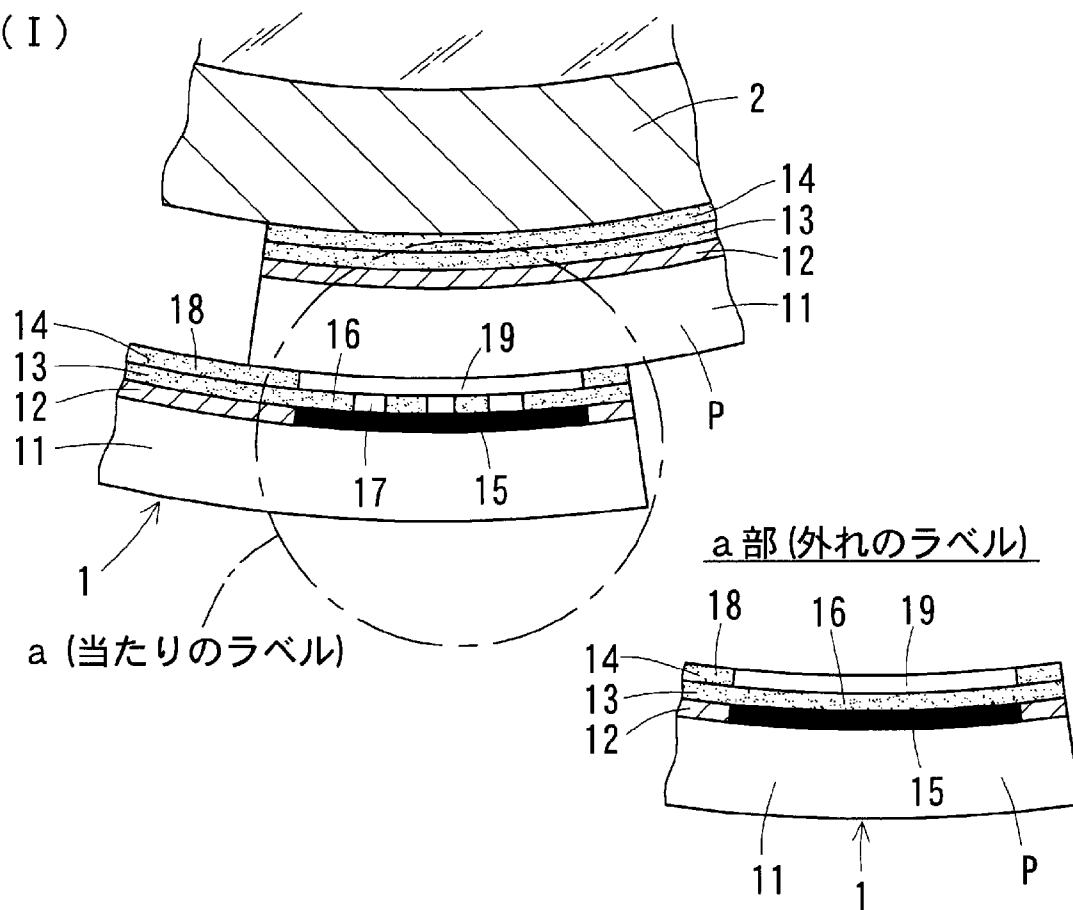


【図 2】

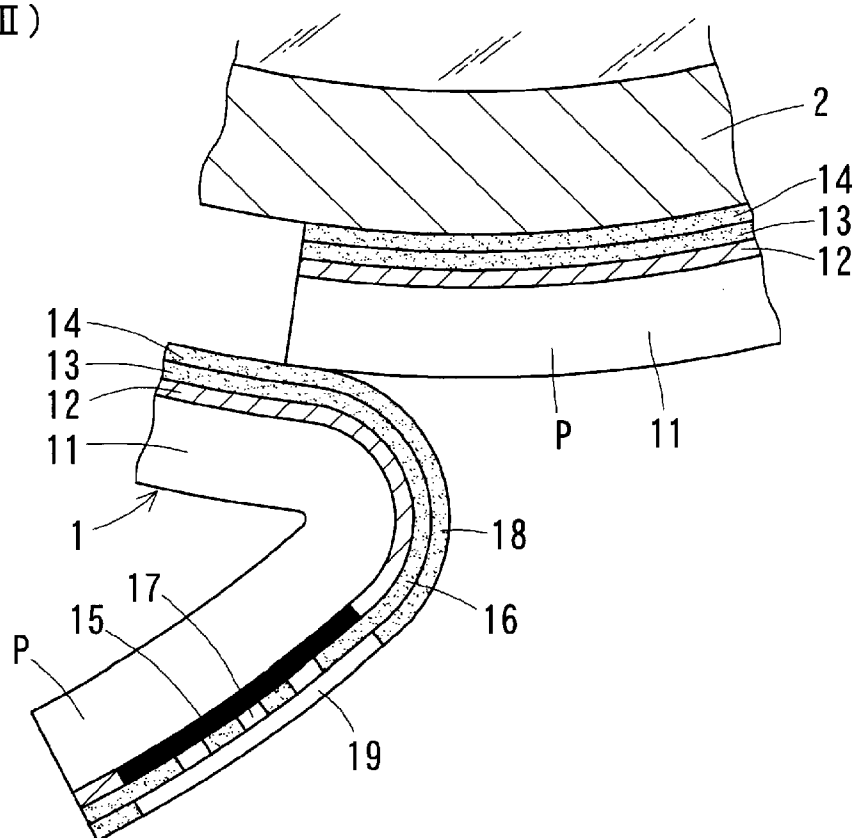


【図 3】

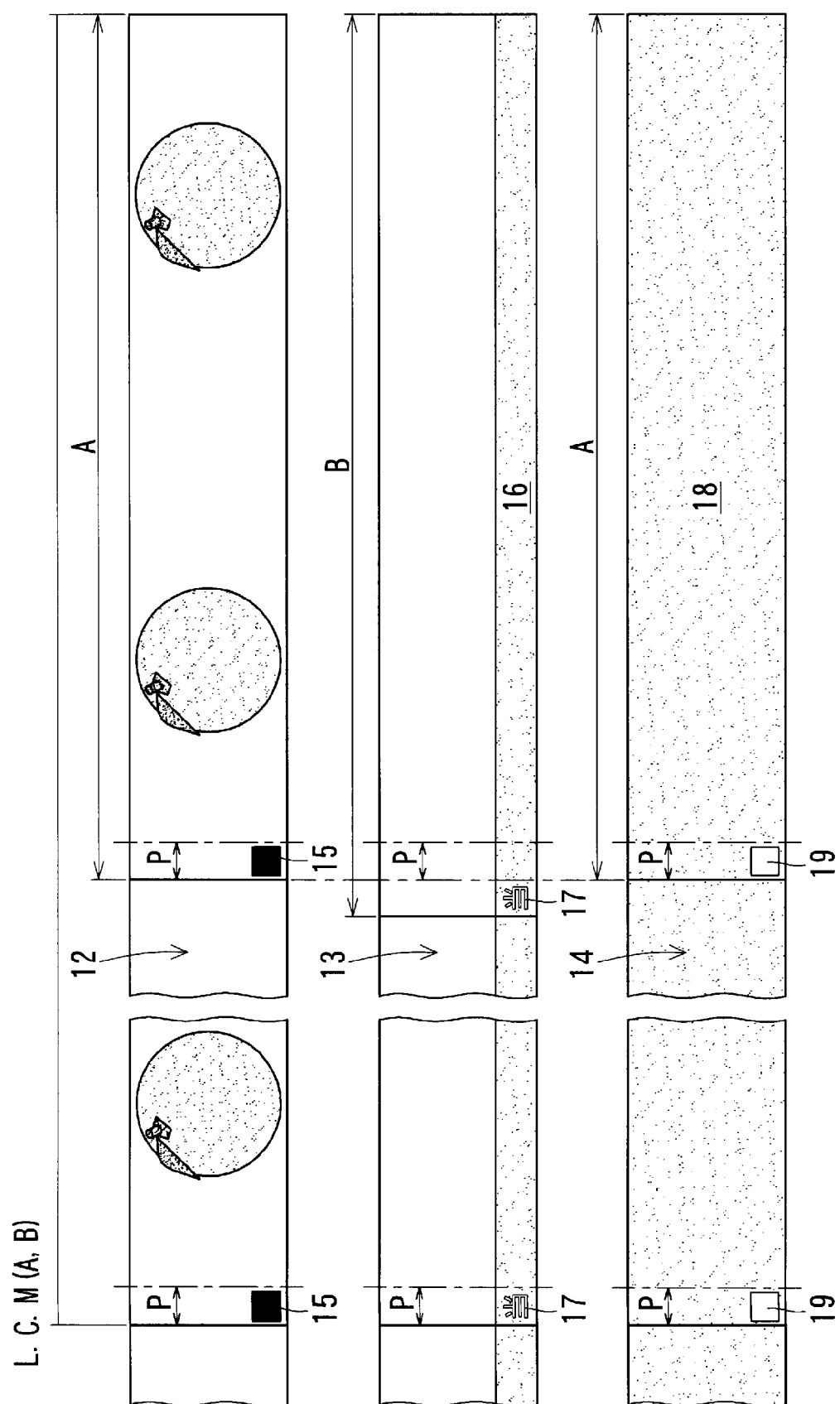
(I)



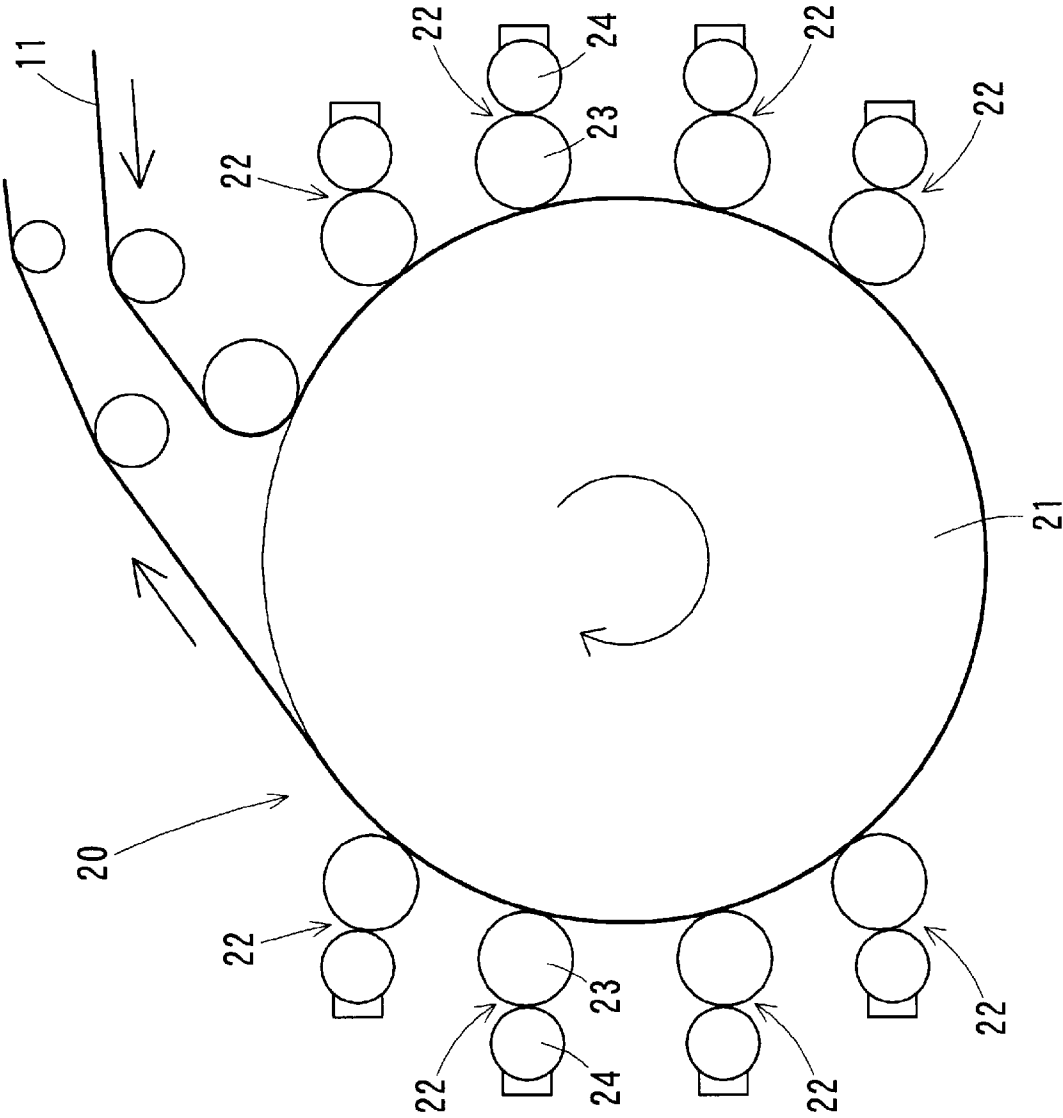
(II)



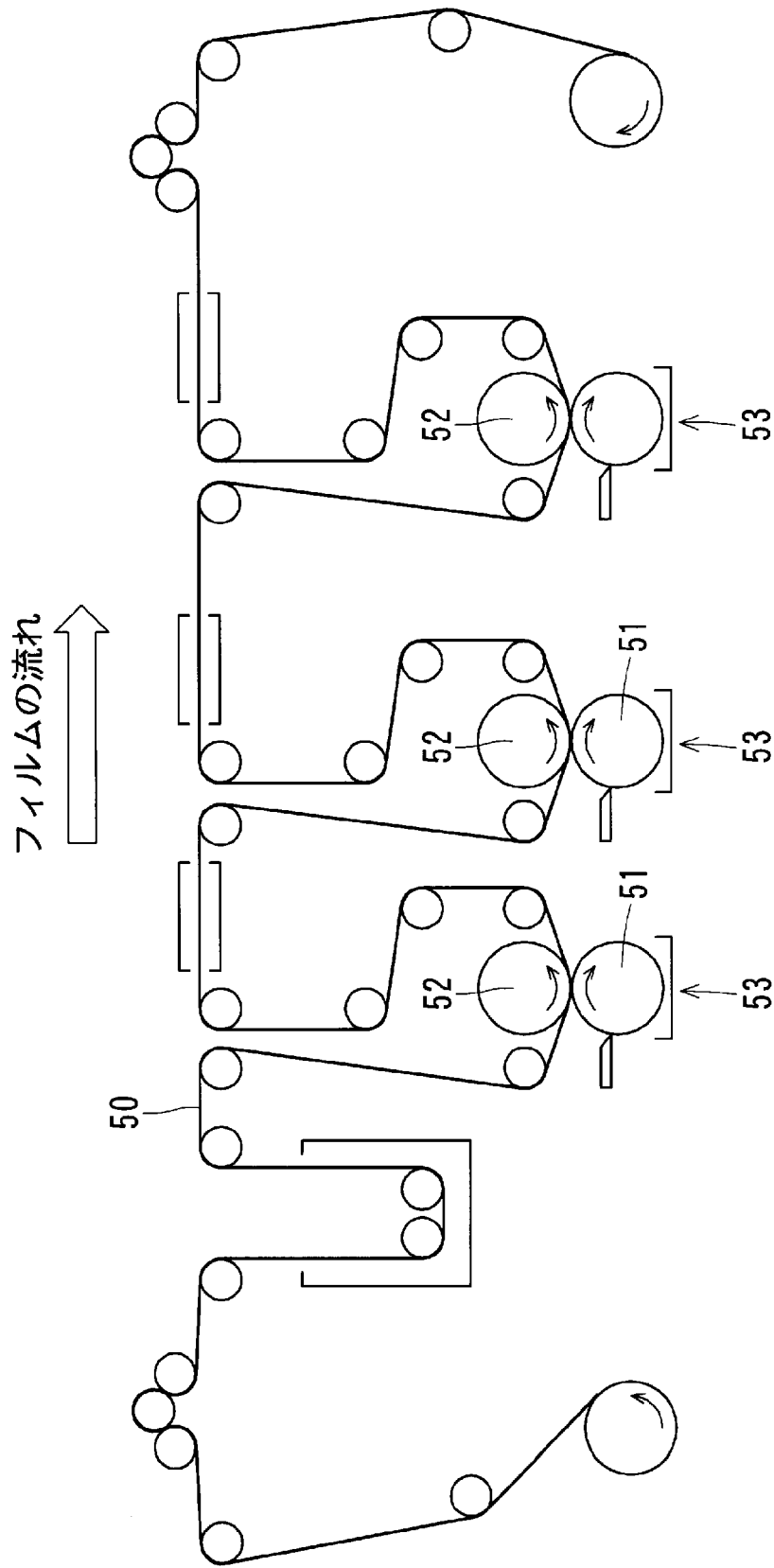
【図 4】



【図 5】



【図 6】



国際調査報告

国際出願番号

PCT/IB2018/053700

A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC))
B65C3/08(2006.01)i, B65C3/12(2006.01)i, G09F3/03(2006.01)i, G09F3/10(2006.01)i, G09F3/02(2006.01)i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))
B65C3/08, B42D15/10, B31D1/02, G09F3/02, B41M3/06, B32B33/00, B42D15/00, B32B3/28, B65C3/12, G09F3/03, G09F3/10

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

韓国実用新案および実用新案出願

日本国実用新案および実用新案出願

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

eKOMPASS(KIPO internal) & キーワード: label, container, prize offer, conceal, flexographic printing, common multiple

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y	JP 2002-358015 A (トッパンレーベル株式会社) 2002.12.13, 段落 [0009]、[0016]、[0030] - [0065]; 図1-5	1-3
Y	US 2001-0038204 A1 (野島 通洋 他) 2001.11.08, 段落 [0002]、[0027] - [0051]; 図1-5	1-3
Y	US 2004-0067342 A1 (シェパード, ウィリアム, エイチ. 他) 2004.04.08, 段落 [0073]、[0134]、[0135]; 図6 E	3
A	JP 11-078327 A (大日本印刷株式会社) 1999.03.23, 段落 [0013] - [0023]; 図1-4	1-3
A	US 2006-0110561 A1 (ARIPPOL, JEFFREY) 2006.05.25, 段落 [0016] - [0026]; 図1-7	1-3

☐ C欄の続きにも文献が列举されている。

☒ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの

「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの

「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す)

「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献

「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの

「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの

「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの

「&」 同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

14.09.2018

国際調査報告の発送日

14.09.2018

国際調査機関の名称及びあて先

韓国特許庁, 189 Cheongsu-ro, Seo-gu, Daejeon, 35208, Republic of Korea
Facsimile No. +82-42-481-8578

特許庁審査官 (権限のある職員)

国際調査報告
 パテントファミリーに関する情報

国際出願番号
 PCT/IB2018/053700

JP 2002-358015 A	13-12-2002	無	
US 2001-0038204 A1	08-11-2001	EP 1107214 A2	13-06-2001
		EP 1107214 A3	05-09-2001
		EP 1107214 B1	29-04-2009
		JP 2001-228801 A	24-08-2001
		JP 2011-191784 A	29-09-2011
		JP 4781515 B2	28-09-2011
		JP 5191557 B2	08-05-2013
		US 6581972 B2	24-06-2003
US 2004-0067342 A1	08-04-2004	AU 5303900 A	18-12-2000
		CA 2373982 A1	07-12-2000
		CN 1224508 C	26-10-2005
		CN 1353644 A	12-06-2002
		DE 60013291 T2	18-08-2005
		EP 1194290 A1	10-04-2002
		EP 1194290 B1	25-08-2004
		ES 2226855 T3	01-04-2005
		JP 2003-500261 A	07-01-2003
		MX PA01012027 A	21-06-2002
		US 2006-0102037 A1	18-05-2006
		US 7160600 B2	09-01-2007
		US 8500940 B2	06-08-2013
		WO 00-73063 A1	07-12-2000
JP 11-078327 A	23-03-1999	無	
US 2006-0110561 A1	25-05-2006	BR PI0405249 A	04-07-2006
		BR PI0405249 B1	05-04-2016
		BR PI0405249 C1	08-08-2006
		BR PI0405249 C2	22-08-2006
		BR PI0405249 F1	14-02-2017
		BR PI0405249 F8	17-10-2017

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.
PCT/IB2018/053700**A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER****B65C 3/08(2006.01)i, B65C 3/12(2006.01)i, G09F 3/03(2006.01)i, G09F 3/10(2006.01)i, G09F 3/02(2006.01)i**

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

B65C 3/08; B42D 15/10; B31D 1/02; G09F 3/02; B41M 3/06; B32B 33/00; B42D 15/00; B32B 3/28; B65C 3/12; G09F 3/03; G09F 3/10

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Korean utility models and applications for utility models

Japanese utility models and applications for utility models

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

eKOMPASS(KIPO internal) & Keywords:label, container, prize offer, conceal, flexographic printing, common multiple

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 2002-358015 A (TOPPAN LABEL CO., LTD.) 13 December 2002 See paragraphs [0009], [0016], [0030]-[0065] and figures 1-5.	1-3
Y	US 2001-0038204 A1 (NOJIMA, MICHIIRO et al.) 08 November 2001 See paragraphs [0002], [0027]-[0051] and figures 1-5.	1-3
Y	US 2004-0067342 A1 (SHEPARD, WILLIAM H. et al.) 08 April 2004 See paragraphs [0073], [0134]-[0135] and figure 6E.	3
A	JP 11-078327 A (DAINIPPON PRINTING CO., LTD.) 23 March 1999 See paragraphs [0013]-[0023] and figures 1-4.	1-3
A	US 2006-0110561 A1 (ARIPPOL, JEFFREY) 25 May 2006 See paragraphs [0016]-[0026] and figures 1-7.	1-3



Further documents are listed in the continuation of Box C.



See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search

14 September 2018 (14.09.2018)

Date of mailing of the international search report

14 September 2018 (14.09.2018)

Name and mailing address of the ISA/KR

International Application Division

Korean Intellectual Property Office

189 Cheongsa-ro, Seo-gu, Daejeon, 35208, Republic of Korea

Facsimile No. +82-42-481-8578

Authorized officer

HWANG, Chan Yoon

Telephone No. +82-42-481-3347



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Information on patent family members

International application No.

PCT/IB2018/053700

Patent document cited in search report	Publication date	Patent family member(s)	Publication date
JP 2002-358015 A	13/12/2002	None	
US 2001-0038204 A1	08/11/2001	EP 1107214 A2 EP 1107214 A3 EP 1107214 B1 JP 2001-228801 A JP 2011-191784 A JP 4781515 B2 JP 5191557 B2 US 6581972 B2	13/06/2001 05/09/2001 29/04/2009 24/08/2001 29/09/2011 28/09/2011 08/05/2013 24/06/2003
US 2004-0067342 A1	08/04/2004	AU 5303900 A CA 2373982 A1 CN 1224508 C CN 1353644 A DE 60013291 T2 EP 1194290 A1 EP 1194290 B1 ES 2226855 T3 JP 2003-500261 A MX PA01012027 A US 2006-0102037 A1 US 7160600 B2 US 8500940 B2 WO 00-73063 A1	18/12/2000 07/12/2000 26/10/2005 12/06/2002 18/08/2005 10/04/2002 25/08/2004 01/04/2005 07/01/2003 21/06/2002 18/05/2006 09/01/2007 06/08/2013 07/12/2000
JP 11-078327 A	23/03/1999	None	
US 2006-0110561 A1	25/05/2006	BR PI0405249 A BR PI0405249 B1 BR PI0405249 C1 BR PI0405249 C2 BR PI0405249 F1 BR PI0405249 F8	04/07/2006 05/04/2016 08/08/2006 22/08/2006 14/02/2017 17/10/2017